

一般質問通告一覧表

令和元年6月第2回定例会
(全て 一問一答)

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 |
|--------|-----------------------|--|
| 竹原 伸晃 | (1) 庁舎整備の考え方について | ・現在の町の考え方(時期・規模・予算・場所など)は？ ・現3小学校を中学校に統合し、空いた小学校を庁舎として使う方法は？ ・新庁舎建設ありきの議論はいけない。住民の判断が必要な案件と考えるが。 |
| | (2) 地域の産業発展について | ・産業育成の専門家集団である商工会ともっと連携すべきである。 |
| 和田 勝弘 | (1) 阪神高速道路湾岸線延伸について | ・阪神高速道路湾岸線岬町への延伸要望に係る取組について |
| | (2) 第二阪和国道の孝子ランプについて | ・第二阪和国道の孝子ランプの信号機に係る取組について |
| | (3) 多奈川地域の公共下水道計画について | ・多奈川地域への公共下水道の認可区域に係る取組について |
| | (4) 岬町各小学校のトイレについて | ・岬町各小学校のトイレの改良について |
| 小川 日出夫 | (1) みさき公園事業の撤退について | ・今後の対策を問う |
| | (2) みさき公園駅前開発について | ・駅前開発を、どのように取り組んでいくかを問う |
| 中原 晶 | (1) 防災行政無線について | 防災行政無線(町内放送)がアナログからデジタルへと回線の更新がおこなわれて以降、「聞こえにくい」との苦情が数多く寄せられている。改善策を問う。 |
| | (2) 太陽光発電事業について | 今年度から、「岬町太陽光発電施設の設置及び管理に関する条例」が施行され、生活環境・防災・景観等への配慮が適正におこなわれるよう義務付けられた。町内の対象施設における条例に基づく点検状況を問う。 |
| | (3) 国民健康保険料の引き下げについて | 都道府県単位化された国民健康保険料が、今年度さらに引き上げられる見通しが示されている。保険料の引き下げには大胆な公費投入が必要だが、世帯員の数に応じてかかる「均等割」と、各世帯に定額でかかる「平等割」をなくし、大幅に引き下げる必要があると考える。町の考えはどうか。 |
| 坂原 正勝 | (1) 空き家・空地管理について | ・町内の空き家・空地管理の現状と今後のあり方を問う |
| | (2) 若者の町内流入、定住促進策について | ・奨学金返済支援事業を導入してはどうか |
| | (3) 熱中症対策について | ・児童・生徒の熱中症の現状と対策は |

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 |
|------|---|---|
| 松尾 匡 | (1) 町職員のための職場環境整備の提案について | <p>近年、職場環境の向上が施設面・メンタル面など、様々な方向から重要視されています。</p> <p>町役場においても、心身ともに快適に仕事ができる環境であることが、業務に良い効果をもたらし、それがひいては町の発展へとつながります。</p> <p>そこで、町の職場環境の現状と改善対策があるかどうかをお聞きし、より良いまちにするために働く職員の全員が、高い志を維持して使命を全うできるような職場環境をつくるための方策の提案をしながら、1人の中途退職者もない職場を目指す職場環境改善の促進について考えます。</p> |
| | (2) 地域が支える、地産地消の循環型学校給食の提案について | <p>全国的に現在見直されている学校給食。</p> <p>子どもの健全な成長には、栄養豊富で新鮮な食材を使うことがとても大切で、現在多くの自治体が学校給食の地産地消を取り入れています。</p> <p>一方で、岬町には増え続ける耕作放棄地と高齢化の社会的課題があります。</p> <p>そんな岬町において、仕事をリタイヤされた方を中心に『子どもの学校給食のため』の農家を育成し、町が農業を続けられるよう環境整備をすることで、耕作放棄地の解消と農業の再生、まちづくりプレイヤーの発掘、そして学校給食の地産地消を見込める、循環型まちづくりができると考えます。</p> <p>その提案について、可能性を探りながら町行政の考えをお聞きます。</p> |
| | (3) 健全化と透明性に向けた持続可能な循環型町財政のための、各事業別のコスト計算書の作成・報告制度の提案について | <p>町が行う様々な事業については現状、事業別コスト計算書での議会の審議がなされておらず、結果、お金の流れが分かりにくく不透明な部分があり、総合的に各事業の個別評価ができていない側面があります。</p> <p>事業別コスト計算書とは、人件費や事業の実施にかかる経費など事業の管理運営に要したコスト(経費)や利用者負担金等の収入の状況、町民1人あたりの町民税等の充当額の状況などを明らかにするものです。</p> <p>今後は事業別コスト計算書を作成し、議会や住民に報告することで、各事業を多角的・総合的に評価できる制度を提案しながら、健全化と透明性に向けた持続可能な循環型町財政のあり方についてお聞きます。</p> |